

## 議会改革 特別委員会だより

昨年5月、改選後の初議会となる第1回臨時会で、前任期から引き続き、議会改革特別委員会が設置されました。前任期では、市議会だよりの発行、本会議のインターネット中継、そして議員の投票による議長選挙などがスタートし、改革を進めてきました。今任期においても、議長から諮問された改革事項について、議論を展開しています。

### ■議長の諮問事項

#### ○市民に開かれた議会

(1)議会からの情報発信・広報広聴活動の充実について

・議会報告会の開催、移動常任委員会の開催、政務活動費のあり方

#### ○多様な議論の場を形成する議会

(1)議会の行政監視機能の強化について

・議会基本条例

(2)政策立案能力の向上について

・議員および事務局職員の調査、研究能力向上、常任委員会、特別委員会での政策提案

(3)議員個々の資質向上について

・議員間討議（自由討議）  
(4)議会の活性化について

・議員の複数常任委員会の所属  
・議長、副議長の会派離脱

・反問権を市長、教育長、部長など理事者側に付与すること

・本会議主義と委員会主義の比較検討（当市議会は本会議主義）

### ■1年間の協議経過

特別委員会の中に2つの分科会（作業部会）を設け、それぞれ担当する調査事項について調査検討を進めており、分科会としての方向性を示した後、特別委員会の場において決定していく手法をとっています。この1年間で、4回の特別委員会、5回の分科会を開催しました。また、この特別委員会における大きなテーマである「議会基本条例」と「本会議主義と委員会主義」について、三笠市議会および石狩市議会への視察研修を実施しました。

### ■主な協議内容

#### 第1分科会

座長 清水 雅人

副座長 木下八重子

分科員 本間 保昭 関藤 龍也

#### ・議会基本条例

基本条例をひと言で言えば、議会のあり方を明文化したものです。近年、地方分権の進展に伴い、地方議会の役割が大きくなり、基本条例を制定する議会が増えていきます。そこで、市民との意見交換会の開催をはじめ、効果的と考えられることについて、まず、試行したうえで内容を検証し、最終的に基本条例の必要性を判断したいと考えています。

#### ・移動常任委員会の開催

移動常任委員会の開催については、市民との意見交換の場と位置づけ、検討を進めています。これまでも必要に応じて常任委員会や特別委員会として実施してきましたが、さらに積極的に実施することとで、市民の皆さんからの意見を拝聴し、政策提案ができないかといった議論がなされ、現在、常任委員会として市民や団体との意見交換をするためのルールづくりに着手しています。

#### 第2分科会

座長 山本 正信

副座長 柴田 文男

分科員 堀 重雄 安樂 良幸

#### ・本会議主義と委員会主義の比較検討

本市議会では、本会議での審議を中心とする本会議主義を採用しており、新年度予算や決算など特別委員会等に付託される議案を除く議案については、すべて本会議で審議され可否を決定しています。全議員が一堂の場で質疑・討論を行うことができませんが、質疑回数が制限されるなどの制約もあります。

一方、委員会主義を採用している議会では、本会議の開会后に議案を常任委員会等に付託し、そこで質疑が行われ、最終的にその結果が本会議の場で報告され、可否が決定されます。通常、常任委員会などで審議される場合は、その委員会の所属議員による審議となります。

いずれの方法も長所、短所はありますが、現在採用している本会議主義の問題点を洗い出し、さらに充実させるような方法がないか、委員会主義の手法を取り入れることができる部分はないかといったことを他議会の事例を調査するとともに、答弁側の市部局の意見も聴取しながら、検討します。